

2021 年度 総括及び事業報告

社会福祉法人かわち野福祉会

第 180 回 理事会

新型コロナ感染は 3 年目に入ってもなお利用者、ご家族、職員に大きく影響しました。デルタ株からオミクロン株と感染力や重度化リスクなど違いはあっても、高齢福祉を運営する上では、最大限の配慮をし続けなければならない状況は変わらずありました。オミクロン株が感染拡大した折には、家族・お子さんから感染する職員又は濃厚接触者としての自宅待機する職員が増え、健康管理（状況把握）や現場体制の厳しい状況が起こるなど、感染対策に時間も労力も事業費用にも大きく影響しました。年明けにはサ高住加納でクラスターは回避できたものの利用者 2 名（接触なし）、職員 2 名感染者が出ました。そのうちの職員 1 名が利用者からの感染と認定し労災対応をしています。また、入居者の感染者は再三の入院要請しましたが入院がかなわず、酸素ボンベを不測の事態に備え借りるといった対応で、そのまま加納診療所による医療的処置を受けながら居室で過ごしていただき幸いにも回復されています。コロナワクチンの 2 回目、3 回目の接種を入居者、利用者、職員が接種できるようにし、職員は現在も月 2 回の PCR 検査にくわえ、疑わしい時には抗原検査もできるよう市の補助を受けて各施設で管理しています。

法人全体の事業活動収入は 8 億 1283 万円で前年より ▲212 万円少なく、費用では人件費率が 64.4%（前年より 1649 万増、103.3%）、事業費は予算より ▲361 万抑え（97.1%）、前年より 229 万（101.9%）増加しました。事務費は予算より ▲48 万（96.9%）抑えましたが、前年より 292 万（104.0%）増えています。前年度は 3105 万円の剰余出ましたが、今年度 ▲531 万円の欠損を出しています。収入も少なかったうえに、事業活動費用は前年より 2126 万円増えたことが大きく影響しています。人員不足が常態化しており求人に入れた結果、正規職員数が 41 名から 43 名に、准正規職員が 15 名から 20 名に増え、人件費増につながっています。また紹介手数料が増え（636 万、前年より 310 万増）、紹介会社とのトラブルも発生するなど様々ありましたが、特養や訪問介護で安定的な体制ができた部署もありました。引き続き働き続けられる職場づくりが重要となっています。

働きやすい、働き続けられる職場づくりの一つとして、ClipLine(動画型マネジメントシステム)を導入し 2 年目となり、コミュニケーション、OJT、業務改善につながるよう活用の幅を増やしてきました。特養ながせでは定例学習会に参加者が少なく、聞いてほしい人が参加できないといったことも多かったですが導入後は学習会資料や動画をアップすることで、全員が受講することができるようになりました。また、「法人の沿革と理念」や「2020 年決算報告」「勤怠システムの操作方法」「年末調整の書類作成」など広く知っていただく機会になりました。まだ、操作に慣れていない職場もあり、使い方の簡易マニュアルを ipad とともに設置しました。今後、施設紹介の動画を撮影しアップし、「施設への理解を進め誰もが見学者の対応をできる。」をはじめ、厨房の業務手順等も予定しています。7 月には民主医療機関連合会へ特養ながせが加盟し、法人全体への加盟とな

ります。8月から介護保険制度改悪による特別養護老人ホームなどの介護保険施設に入所する低所得者の食費・居住費を補助する制度（補足給付）は、特養ですら入所できない高齢者を増やし、保険料を払っていても利用できない状態が拡大しています。人権意識を養い、理念にある利用者、家族の思いに寄り添える法人めざしていきます。

【特別養護老人ホームかわち野里ながせ】

コロナウィルス感染症に職員の感染者は出ましたが、入所者には感染者出ず、職員個々の感染予防の努力が結果となりました。昨年とは違いこの一年は入、退所が激しい年(新規入所者 17名、退所者 17名)で、開設時からの入居者に看取りもありました。待機者数は年度末に状況確認の連絡を取り整理したところ、連絡の取れなかったケースもふくめて100名を切りました。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規入所者	1	1	1	3	1	1	2	2	1	2	2	0	17
退所者	1	1	0	3	2	1	3	0	3	2	0	1	17
入院	4	4	3	1	3	2	2	3	3	4	2	1	32
日数	72	67	73	48	48	11	46	126	48	62	108	3	712

平均入院日数20.8日で、30日を超えるケースも10件に上りました。施設内の重度化、医療リスクの高い方の受け入れなどが要因です。

ケアカンファレンスを3～5か月に1回ペースで開催。レクリエーションを積極的に実施しましたが、コロナ禍でご家族・地域参加の取り組みができなかったため、写真や動画をFacebookにアップし毎月の通信でお知らせしました。

職員の教育、研修については、入職時の研修プログラムがうまく稼働していないため、改善が必要ことがわかりました。職員向け研修については内部研修の年間計画を作り、責任者・主任で分担し、ClipLineを活用し、全員参加で取り組むことができました。

【特養ながせショートステイ】

ショートステイの稼働率が月平均80%を超える月が2回あり、年平均は72%でした。お問い合わせ158件のうち契約数は47件(29.7%)と契約までに至らないのは、週末の利用希望に満室でお断りせざるを得ない状況になるためでした。また、コロナ禍による新規利用者の受け入れ控えたなど影響が4月、3月にでました。稼働率が上がっていても、生活保護受給者のご利用が多く収入面では伸びませんでした。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月平均
新規	0	2	4	5	4	5	4	6	4	6	6	1	3.9
利用者数	38	30	36	37	35	35	31	42	39	37	39	36	36
延件数	391	392	410	457	421	400	409	440	500	474	440	517	438
一日平均	13.0	12.6	13.7	14.7	13.6	13.3	13.2	14.7	16.1	15.3	15.7	16.7	14.4
稼働率	65.2%	63.2%	68.3%	73.7%	67.9%	66.7%	66.0%	73.3%	80.6%	76.5%	78.6%	83.4%	72.0%

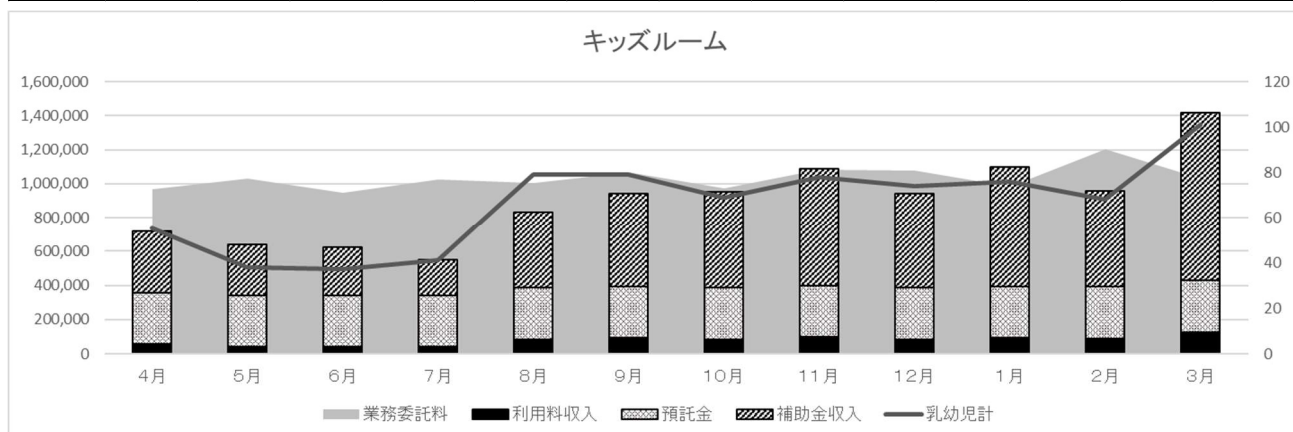
営業活動は外部にはできませんでした。Facebook を利用しての情報発信で生活状況や取り組みを見ていただくことで、ご家族より喜んでもらえています。

【かわちのキッズルーム】

2021 年 5 月～7 月にかけての利用者減や、育成協会による一方的な算定基準の変更 ①従来補助対象となっていた「土曜開所」が「判断の相違」などとして定期利用者がいなければ「補助対象外」と判断されました。②「月 1 回の土曜閉所」により週 6 日以上から週 6 日未満へと算定基準が変更になりました。以上のことから前年度より補助金収入が約 138 万円も減少し、収支で▲288 万円の赤字となりました。利用者確保に向け、地域からの受け入れについても検討しましたが、コロナ禍での慎重な対応が求められているもとで、当面は見送ることにしています。

来年度は、委託料が引上げられ（保育士の賃上げによる）さらなる赤字が予想されたため、預託金の引上げ（各法人 15 万円から 20 万円へ）が確認されましたが、収支改善のためにも利用者増（定期利用）による補助金収入の確保が求められます。2022 年度より保育料増額改定に合わせ、月極利用者の二人目半額とします。

2021年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
開所日数	20	22	24	26	25	24	24	26	25	23	23	25	287
乳幼児計	55	38	37	41	79	79	69	78	74	76	68	101	795
乳幼児1日平均	2.8	1.7	1.5	1.6	3.2	3.3	2.9	3.0	3.0	3.3	3.0	4.0	2.8
利用料収入	55,400	40,000	42,100	42,800	85,500	94,900	85,300	98,000	86,100	94,900	90,700	127,700	943,400
預託金	300,000	300,000	300,000	300,000	300,000	300,000	300,000	300,000	300,000	300,000	300,000	300,000	2,400,000
業務委託料	970,112	1,029,864	946,000	1,027,312	1,006,280	1,070,068	974,512	1,085,040	1,078,748	982,344	1,205,689	1,032,728	12,408,697
補助金収入	360,670	297,350	283,240	206,260	448,280	548,220	566,440	692,850	557,120	702,480	568,940	990,680	6,222,530



【ケアハウス】

上半期に退居が続き、すぐに入居に繋げることができず 10 月まで空室がある状態となり最大で 4 室が空室となった時期ができました。退居の内訳は自宅での生活再開 1 名、長期入院 1 名、特養入所 3 名、ケアハウスでの看取り 1 名です。退居前に入院やショートステイの利用により、延日数・生活稼働率が低下となっています。10 月・11 月に 2 名ずつ入居し満床となっています。

建物の築 20 年経過及び老朽化による大規模修繕、空調・給湯設備の更新を行いました。1 億円以

上の大規模修繕となり、寄付金運動を現在も継続中です。職員体制については人員を強化したことでの人件費が増えました。食材料費などの高騰により給食費も前年度よりも増加する事になりました。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入居室数	30	29	28	29	28	26	28	30	30	30	30	30
入居数	0	0	0	1	0	0	2	2	0	1	0	0
退居数	0	1	1	0	1	2	0	0	0	1	0	0
空室	0	1	2	1	2	4	2	0	0	0	0	0
延日数	875	883	818	871	806	788	868	883	905	923	840	911
生活稼働率	97.2%	94.9%	90.9%	93.7%	86.7%	87.6%	93.3%	98.1%	97.3%	99.2%	100.0%	98.0%

今年度もコロナウイルス感染対策のため、行事やサークル活動の開催を控えました。行事が行えない中で楽しみをもっといただけるように行事食の回数を増やしました。

コロナ感染者が増加する中、入居者からの感染者を出すことなく、外部デイサービス利用者が1名、濃厚接触者となるにとどまりました。入居者の状況は概ね自立した生活を送ることができていますが、食堂やトイレへの誘導、排泄の一部介助など、見守りや介助が必要な方が増えてきました。中でもお薬預かりの方が増え、半数の15名が利用しています。

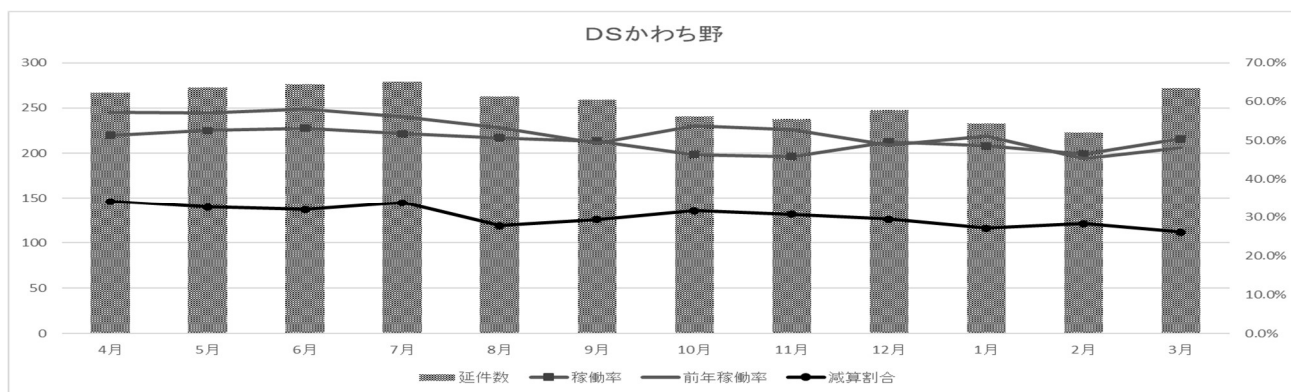
また往診管理の入居者が2名から5名に増え、はなぞの診療所との連携が強化されました。

下半期より厨房管理者不在の状態が続き、体制の立て直しが急務になっています。

【デイサービスセンターかわち野】

年間通して新規8件、終了5件と新規利用者数が上回っていますが入院やロングショート利用、コロナ感染予防の為のお休みなど長期に渡ってお休みされる方が増え、稼働率が減少した結果となりました。前半は職員の退職が重なり職員体制が不安定な中、新しいレクリエーションや各行事時にするレクリエーションには利用者様の反響はとてもよく、家族様やケアマネ様からうれしい言葉がいただけています。職員も新たに3名加わり、早い段階で利用者様の状態や仕事の内容をよく理解し頑張ってくれたので営業活動をすることもできてきました。稼働率も上がり職員体制が安定してきたので来年度は加算取得の検討します。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月平均
新規	1	1			1		1	1		1		2	
終了			1			1	1			1		1	
実利用者数	28	29	28	28	27	28	28	29	27	28	27	29	28
延件数	267	273	276	279	263	259	241	238	248	233	223	272	256
一日平均	10.3	10.5	10.6	10.3	10.1	10.0	9.3	9.2	9.9	9.7	9.3	10.1	9.9
稼働率	51.3%	52.5%	53.1%	51.7%	50.6%	49.8%	46.3%	45.8%	49.6%	48.5%	46.5%	50.4%	49.7%
減算割合	34.1%	32.6%	31.9%	33.7%	27.8%	29.3%	31.5%	30.7%	29.4%	27.0%	28.3%	26.1%	30.2%



コロナウイルス感染対策は昨年同様徹底し、バイタルやご本人の状態確認、又、ケアマネや家族様との連絡も重視した結果デイ内での感染はありませんでした。

デイに來られてからの体調の変化など気づきがたくさんあり、早めの対応で重態な状態にならずに対応できたケースがありました。しかし、途中で利用を中止するとその日の利用率を減らしてしまう結果になってしまいます。利用者ご本人、家族様、ケアマネ様より「頼りにしている」などの嬉しい言葉はいただけますが、1年通して入院、入所、長期休暇の多い1年で頑張りが結果に出ず利用率が減少しました。

【ケアプランセンター】

利用者数も緩やかではありますが増え、年度末の3月で利用者数の上限まで達しました。ICT(居宅介護支援Ⅱ)の算定で上限枠を増やすことができましたので、来年度はその上限まで伸ばせるようにしたいと思います。長期入院したケースなどはあまりなく、終了(死亡・入所)者がいても、すぐに新規の依頼があり運営的にも支障があまりでませんでした。

法人内の紹介率に関してはデイサービスへの率が増えました。訪問介護とともにデイサービスの新規利用者は調節しながら引き続き上限での数値を維持していきます。また、ケアマネ実習生受け入れ事業所として登録されていますが、今回初めての受け入れ(医療生協かわち野の職員)を実施いたします。

		4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月	
		実	予	実	予	実	予	実	予	実	予	実	予	実	予	実	予	実	予	実	予	実	予	実	予
予防		9	10	9	10	9	10	9	10	9	10	9	10	9	10	10	10	10	10	10	10	10	10	9	10
要介護1・2		25	27	26	27	25	26	26	26	28	27	29	27	29	28	30	28	31	28	30	28	30	28	31	29
要介護3～5		12	9	11	9	11	10	11	10	11	10	10	11	11	11	10	11	8	11	8	11	8	11	11	11
プラン計		46	46	46	46	45	46	46	46	48	47	48	48	49	49	50	49	49	49	48	49	48	49	51	50
認定調査		4	1	4	3	5	1	6	3	2	1	5	3	6	4	5	1	6	1	5	2	4	4	4	3
法人内 紹介率%	HP	77.8		77.8		77.8		75		76.5		76.5		76.5		77.8		77.8		76.4		75		76.5	
	DS	65.2		68		65.2		65.2		63.6		63.6		65.2		66.7		72.7		73.9		81		77.3	

【サ高住加納】

前年度(2020 年度)の家賃改定に伴う退居者は数名にとどまりましたが、年度初めの 4 月には体調不良による入院の後、死亡する事例が相次ぎました。また、新入居者が 5 名あったものの、ご本人や家族の都合(経済的、家族が遠方など)による転居も多く、前年度より 1 名多い 15 名が退居されました。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新入居者	1	2						1		1			5
退居者	6		1	1				3	1	2	1		15
入居室数	62	58	58	57	56	56	56	57	54	54	52	51	671
入居者数	64	60	60	59	58	58	58	59	56	56	54	53	695
空室	13	17	17	18	19	19	19	18	21	21	23	24	229
入居率	82.7%	77.3%	77.3%	76.0%	74.7%	74.7%	74.7%	76.0%	72.0%	72.0%	69.3%	68.0%	74.6%
延日数	1855	1860	1797	1738	1798	1739	1798	1715	1722	1687	1568	1626	1742

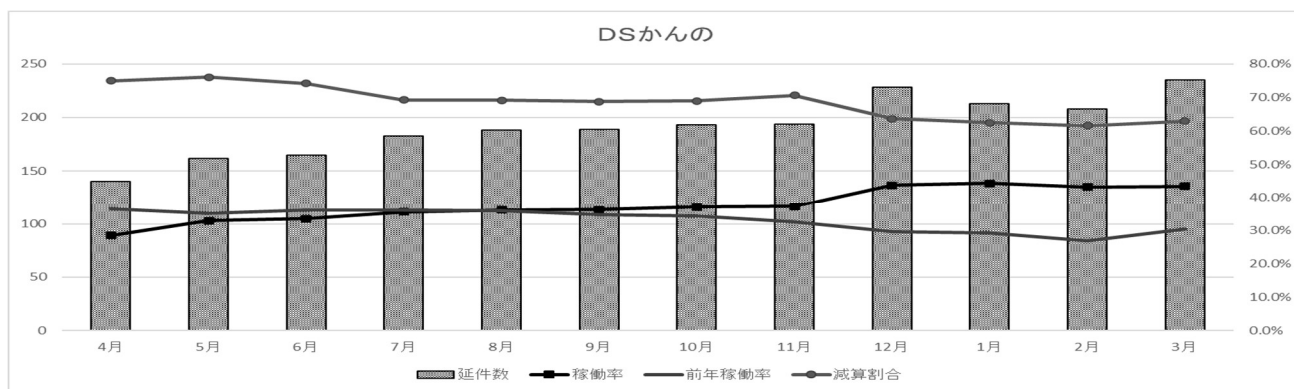
コロナの影響もあり見学者が減少し、ホームページのレビューの閲覧が増えるといったことはありましたが、入居に繋げることができませんでした。また、電話での問い合わせは多かったものの、費用面で断念される方が多かった印象です。

入居者 2 名がコロナに感染しましたが、入院できずサ高住内で療養し無事に回復されました。スタッフの献身的なケアや、連携医療機関のフォローで事なきを得ました。入院中に感染した方 1 名、入院時の検査で感染が判明した方 1 名がいましたので、入居者の感染は 4 名になりましたが、サ高住内にまん延することなく経過し、スタッフも不安な状況を乗り越えてくれました。スタッフや家族に感染者が数名出たことで、シフト調整が困難なこともありましたが、理解と協力のもとで運営を続けることができました。未だ終息を迎えてはいない状況ですので、気を引き締めて業務にあたっています。

【デイサービスセンターかんの】

稼働率が低迷する中、外部事業所に通っていた方がかんのと併用するようになり、外部利用者の紹介、新規利用もあり純増することができました。サ高住入居者が身体状況の変化により利用回数が増えた方もいました。稼働率を 40% 台まで回復させることができましたが、予算には達成することができませんでした。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月平均
新規		1	2			1		1	3	1			9
終了											1		1
利用者数	12	13	15	15	15	16	16	17	20	21	20	20	16.7
延件数	140	162	165	183	188	189	193	194	228	213	208	235	191.5
一日平均	5.7	6.6	6.7	7.1	7.2	7.3	7.4	7.5	8.8	8.9	8.7	8.7	7.6
稼働率	28.5%	32.9%	33.5%	35.6%	36.2%	36.3%	37.1%	37.3%	43.8%	44.4%	43.3%	43.5%	37.7%
減算割合	75.0%	76.0%	74.1%	69.3%	69.1%	68.8%	68.9%	70.6%	63.6%	62.4%	61.5%	63.0%	68.5%



送迎対応ができるスタッフを確保することができたので、外部利用者増にも対応することができました。年末年始も、振替や追加利用を積極的に勧めて利用を確保しました。

サ高住やヘルパーステーションとは連携を密にし、サービスの見直しやスムーズに業務ができるよう改善が必要です。

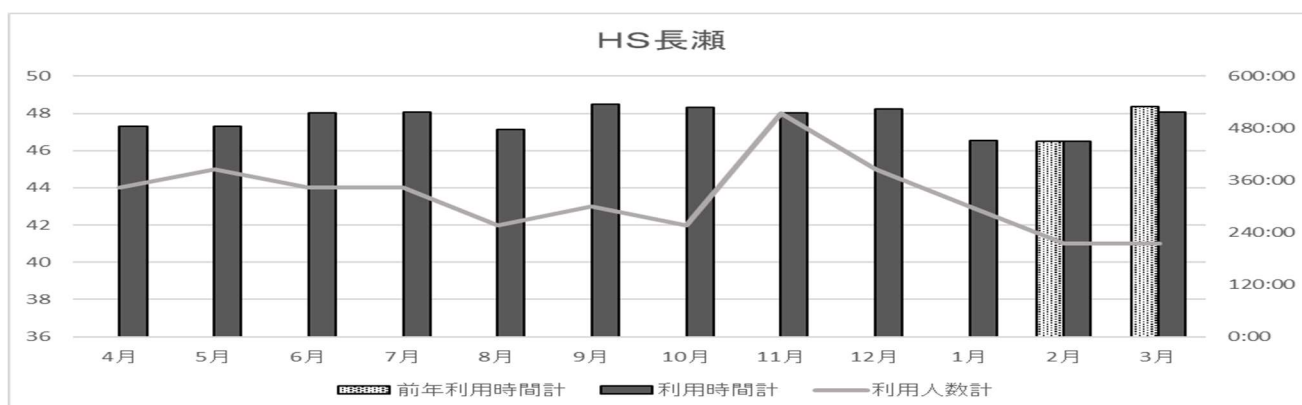
利用者にコロナ感染症の発症はありませんでしたが、スタッフおよび家族にコロナ感染があり、シフト調整に苦慮しました。また、コロナの影響により、イベントを控えざるを得なくなっていますが、感染予防対策を充分にとった上で、サ高住入居者との交流会を再開しました。

【ヘルパーステーションかわち野】

2021年2月から長瀬に移転し事業再開しましたが、医療生協かわち野の居宅を中心にプラン依頼増え、職員数上限のサービス依頼があります。ヘルパー不足が深刻な中、紹介会社を通じて2名が入職しました。しかし、営業活動が進むほどの余裕がなく、サービス優先となっています。増員の為に職員募集は継続しています。毎月入院や施設入所となる利用者が多く、時間数の変動が多くありました。東大阪生協病院からの紹介で障害サービスの問い合わせが何件か続けてあり、次年度4月から障害の依頼も受けることになりました。

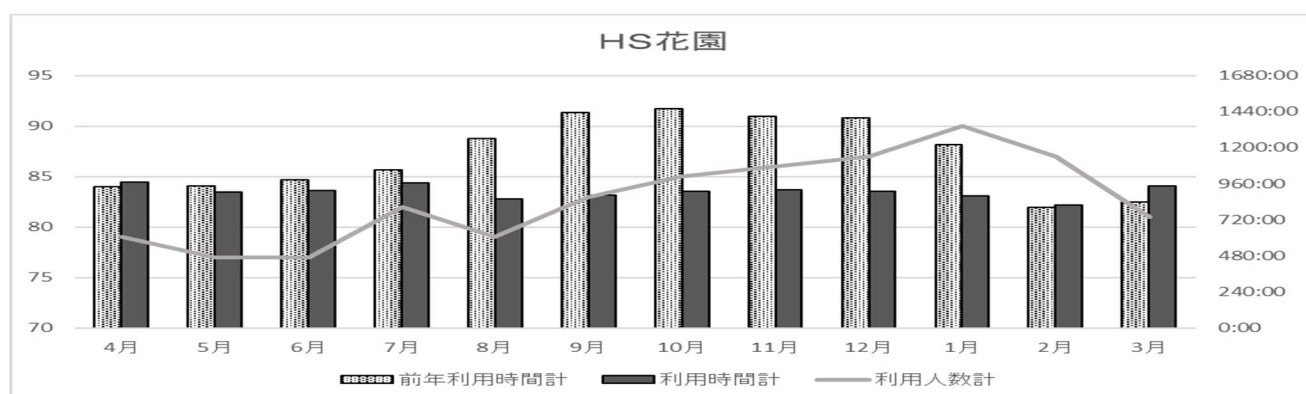
年間に数名のコロナ発症や濃厚接触者となり出勤停止となるヘルパーがいましたが、他ヘルパーの協力でサービスが継続することができました。

ヘルパー会議は、利用者の担当ヘルパー数名が集まるような形で行いましたが、全ヘルパーが集まる会議は出来ませんでした。



【ヘルパーステーションかわち野花園】

慢性的な人員不足があるものの、サービスの依頼を断る事なく受ける事が出来ました。昨年ヘルパーステーションかわち野への分離などで比較することはできませんが、職員ができるサービスの一杯を受け持ってサービスに当たりました。しかし、毎月新規利用者はありますが、入院や施設入所が多く利用者数、時間が思うように増えませんでした。今年は利用者、ヘルパー共にコロナ感染症や濃厚接触者となり、サービスの中止や変更しないといけない状況となりました。コロナ感染症以外にも体調不良や家族が体調不良となるスタッフが多く、急な休みが多くありました。予定していた定期的なヘルパー会議も行うことが出来ず、人員不足から営業活動も出来ませんでした。

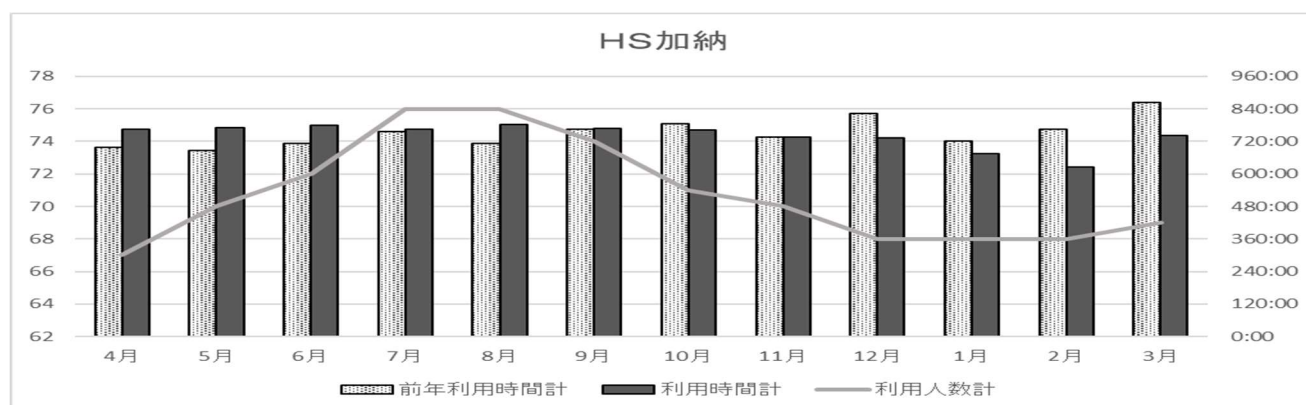


【ヘルパーステーションかわち野加納】

年度初めよりサ高住毎日型の重度利用者(身体介護中心)のサービスが増え、上半期は前年度を上回る数字となりましたが、年末より徐々にサ高住利用者の退去、逝去された事で徐々に売り上げが低迷となりました。

人員不足が1年を通し続き補充することができず、サ責(管理者)の訪問時間を削減することが出来ませんでした。また、職員とのコミュニケーションの機会が取れないための弊害もあり、定期的なヘルパー会議の重要性を実感しました。

コロナ感染の利用者、ヘルパーの感染や濃厚接触者もあり、いつもより増してサービス提供が厳しい状況となり、調整に苦労しました。

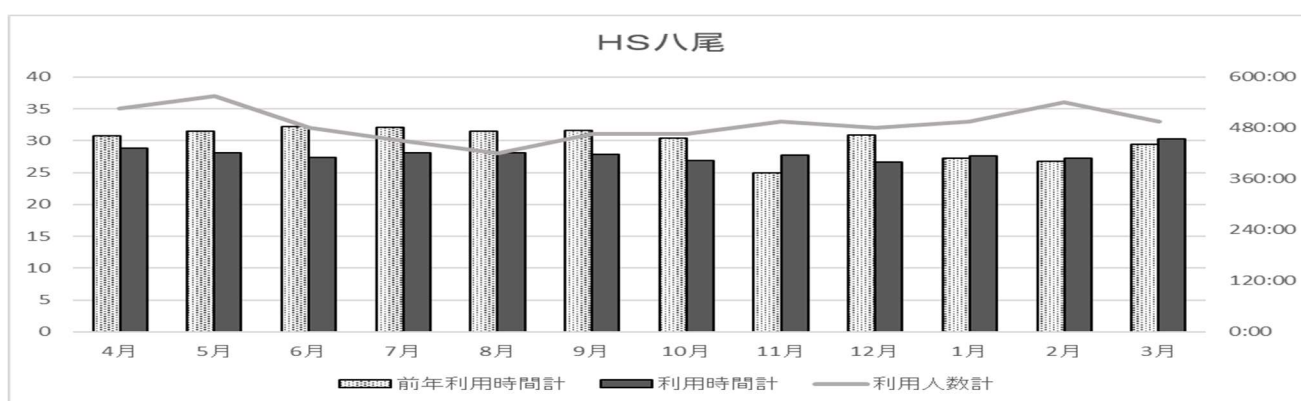


【ヘルパーステーションかわち野八尾】

コロナ感染症発症した利用者もいる中、感染対策は徹底的に行い、利用者、ヘルパーからの感染や濃厚接触者は1例もなく、乗り越えることができました。

6月には医療生協かわち野で小規模多機能施設が八尾にオープンし、利用者数名が移転となり時間数減となった時期もありましたが、年度末には回復することができました。

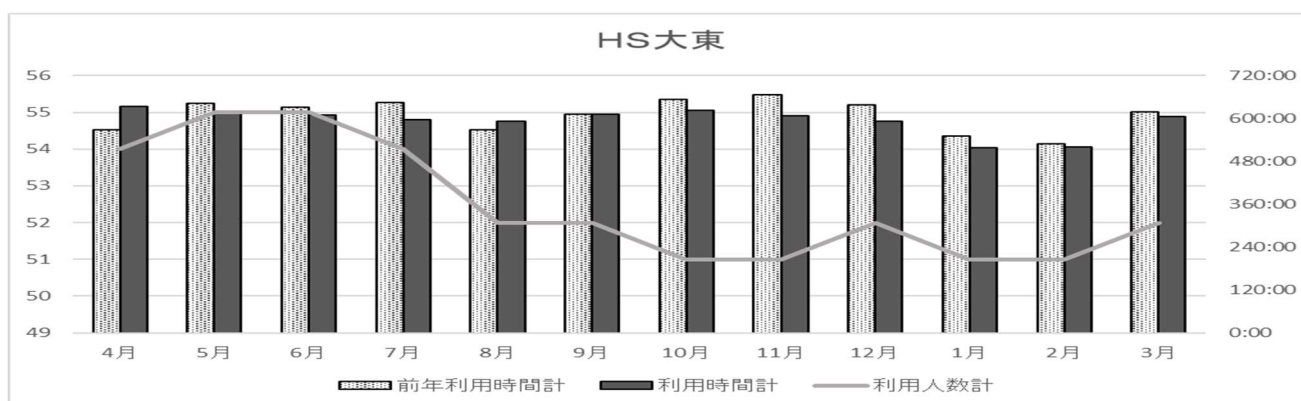
休職しているヘルパー2名は変わらず勤務できておらず、慢性的な人員不足は続いています。1名のヘルパーが入職し少しずつ仕事にも慣れ、今ではメインで入れるまでになりました。ヘルパーの意識も変わってきており現場もしっかり回るようになり、新規の利用者も受け入れできるようになりました。土、日曜日に出勤できるヘルパーがほぼおらず、どうしても対応をお断りせざる得ない状況の時もありましたが、出来るだけ断らないように対応してきました。



【ヘルパーステーション大東】

9月以外毎月新規の依頼が2件以上ありましたが、12月以外毎月、中止、終了の利用者があり、訪問回数の多い利用者が終了になる場合が多くあり、毎月同じような件数、登録になっていました。また、要支援の新総合事業は利用者の死去、要介護へ変更で終了となり時間数減となりました。包括支援センターが一般サポーターを推進している為、新規の依頼は難しい状況となっています。

医療生協ケアプランセンターからの依頼が少なく、他事業所からの依頼が多くなっています。ケアマネさんからの信頼を得るため、対応の難しいケースも断らずに受けてきました。常勤の多い事務所のため人件費を抑えるよう、身体介助の支援は常勤職員優先で行き、訪問中の利用者のサービス内容が現状とあっているのかを常に意識するようにはしてきました。



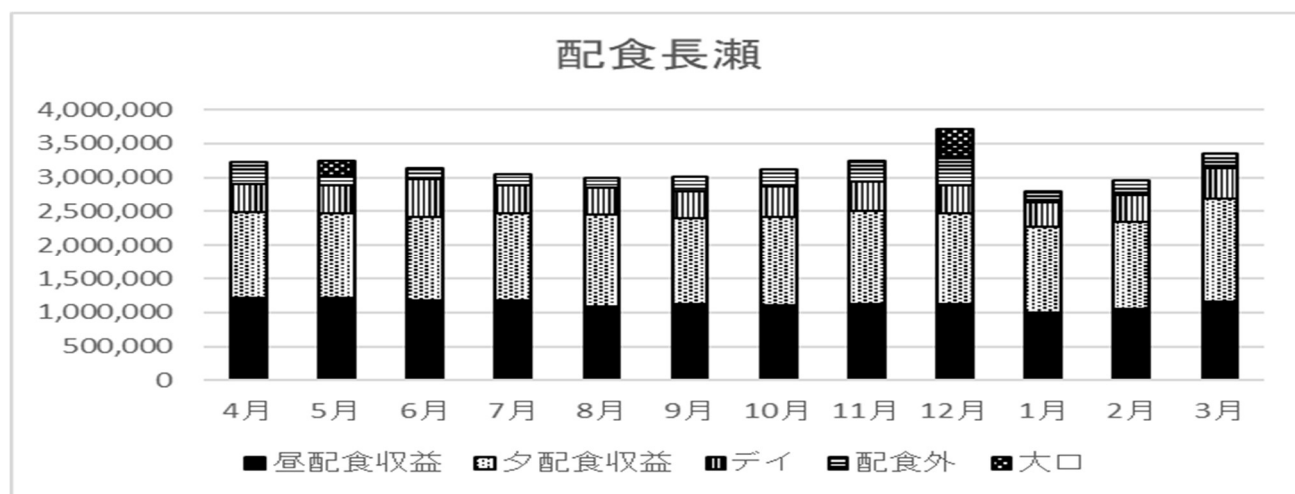
【配食サービスにじの会—長瀬センター】

本年度は職員が体調不良での休職が多く、慣れない時間帯での勤務や代務で残業時間も増え、各職員の負担も大きい一年でした。他、費用面では情勢上、給食費の上昇が大きく影響しています。利用者の状況としては食卓配膳や配達時に体調の不調を訴えられご家族やケアマネに連絡したり、転倒を発見したりするケースが多くなって来ています。

2年前より”配食100食”を目指し職場に貼りだし目標を掲げて来ましたが、当初、手が届くのか？と大きな目標であったものが、予定は昼食だったものの3月末時点夕食で100食を達成できる日が多くなってきました。

年間を通し配達員と管理者で訪問営業を努力してきましたが、緩めると如実に数字に現れており営業活動の大切さを感じた1年でした。

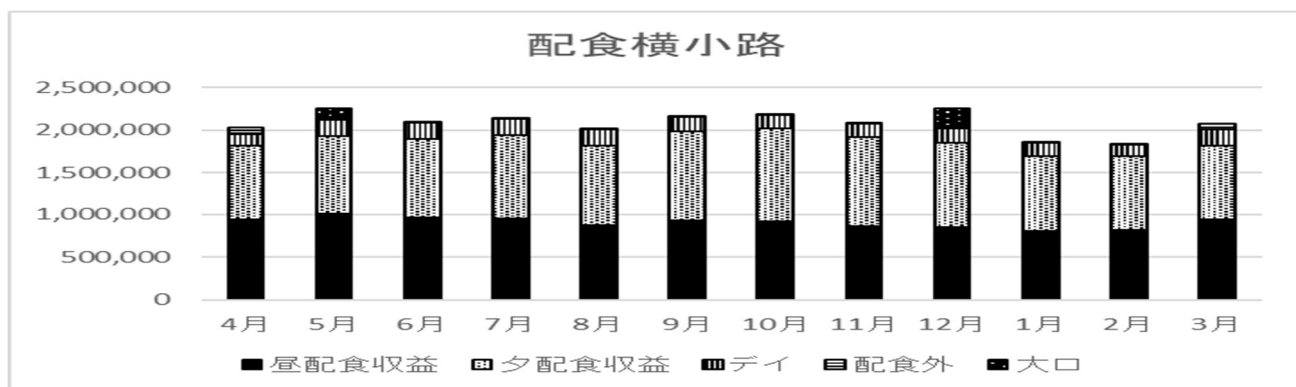
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
営業日数	26	26	26	27	27	26	26	26	26	24	24	27
昼食数	1974	1991	1875	1911	1759	1826	1812	1845	1819	1619	1707	1905
昼件数/日	75.9	76.6	72.1	70.8	67.7	70.2	69.7	71	70	67.5	71.1	70.6
夕食数	2126	2075	2029	2153	2245	2122	2157	2274	2250	2115	2162	2539
夕件数/日	81.8	79.8	78	79.7	86.3	81.6	83	87.5	86.5	88.1	90.1	94



【配食サービスにじの会—横小路センター】

昨年度よりは売り上げが上がったものの管理者不在、配達リーダーの移動等で営業活動ができず、前期食数が右肩下がりになった1年でした。前年度に常勤の調理士を複数名迎えています。日常の業務に追われ業務改善が思うように進まずそれぞれが疲弊する状況にあります。人員増による人件費、物価高による給食費、節約が必要な水光熱費など費用が増えてきています。また、食数を増やすためのチラシのポスティングや営業活動などもできていません。職員への方向性の確認や業務改善への協力など職場会議等で意見を交わし進めることが急務となっています。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
営業日数	26	26	26	27	25	26	26	26	26	24	24	26
昼食数	1489	1576	1518	1538	1415	1514	1503	1420	1393	1323	1340	1530
昼件数/日	57.3	60.6	58.4	57	56.6	58.2	57.8	54.6	53.6	55.1	55.8	58.8
夕食数	1367	1399	1452	1630	1563	1737	1816	1740	1659	1469	1454	1424
夕件数/日	57	58.3	60.3	64.3	66.7	70.4	73.2	69.9	67	64.5	63.2	59.2



【配食サービスにじの会一加納センター】

昨年度より影響している新型コロナウイルスの影響でイベント弁当等の依頼が少なく、苦しい1年となりました。

利用者(配食数)においては1年を通して前年度を上回ることができましたが予算まで達成することができませんでした。また今年度の課題としていた近場のエリアの開発においては、昨年度より配達地域が近くにしばれて件数も伸びたことからある程度の成果は出せたと思います。

職員の状況は調理師が1名不足しており、超過勤務になっています。また職員の高齢化が進んでおり配食の件数が増えるとミスも多く、配達の出発時間が遅れることもあり今後の課題、業務改善が必要になってきています。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
営業日数	26	26	26	27	26	26	26	26	26	24	24	27
昼食数	416	398	363	400	371	428	460	465	443	420	408	452
昼件数/日	16	15.3	14	14.8	14.3	16.5	17.7	17.9	17	17.5	17	16.7
夕食数	16	18	17	27	26	25	24	25	26	24	22	21
夕件数/日	0.6	0.7	0.7	1	1	1	1	1	1	1	0.9	0.8

